

講義名称	卒業研究 I	担当教員名	三成 清香
科目群	必修 (REQ)		
科目区分等	卒業研究 CA4 DI2	単 位	2
対象学年次	2年・春学期	ナンバリング	REQ211

授業のキーワード	多文化共生、やさしい日本語、第二言語としての日本語
授業の概要	今後多様化がさらに進む日本社会について、「やさしい日本語」という観点から概観します。第二言語としての日本語や多文化共生にかかわるテーマをひとつ選び、卒業論文を意識しながら学んでいきます。
期待される学習成果 (目標)	1. 日本における多文化共生社会について、諸外国と比較しながら理解を深めることができます。 2. やさしい日本語や第二言語としての日本語について学ぶことで、日本語について視野を広げることができます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	授業の進め方・評価方法等について説明します。
2	第二言語としての日本語①	皆さんが「国語」として学んできた「日本語」を別の視点からとらえます。
3	第二言語としての日本語②	皆さんが「国語」として学んできた「日本語」を別の視点からとらえます。
4	多文化共生社会とは①	多文化共生社会とはどのようなものかについて学びます。
5	多文化共生社会とは②	多文化共生社会とはどのようなものかについて学びます。
6	やさしい日本語①	「やさしい日本語」の歴史と理念について学びます。
7	やさしい日本語②	「やさしい日本語」を体験します。
8	やさしい日本語③	世界の現状と比較しながら「やさしい日本語」について考えます。
9	中間のまとめ	前講までの学びを総括します。
10	ゼミ論文の準備①	各自ゼミ論文のテーマを決めます。
11	ゼミ論文の準備②	各自ゼミ論文の目次を決めます。
12	ゼミ論文の準備③	各自ゼミ論文の構想を発表し、議論します。
13	ゼミ論文の準備④	各自ゼミ論文の構想を発表し、議論します。
14	ゼミ論文の準備⑤	各自ゼミ論文の構想を発表し、議論します。
15	まとめ	これまでの総括を行います。夏休み中に行うべきことを確認します。

定 期 試 験	ゼミ論文の構想と作業計画書の提出
授 業 時 間 外 学 習	授業の前半はゼミ論のテーマ決定のための下調べを行い、後半は各自テーマを決め、それについて学生同士で議論します。ゼミの時間以外に資料探しや発表のための準備に時間を割いてください。
評 価 方 法	授業への取り組み (30%)、課題に対する評価 (70%) により総合的に評価します。
使用する教科書 (必ず購入してください)	
参 考 文 献	吉開 章『入門・やさしい日本語 外国人と日本語で話そう』(アスク/2020) 庵 功雄、岩田 一成他『〈やさしい日本語〉と多文化共生』(ココ出版/2019)